

「4.15」を口実とした国鉄当局の選別的な不当処分策動を粉碎しよう!

日刊 動労千葉

80.5.11
NO. 全国版 51

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八一九(公衆電話三三二七二〇七)

乗務員運用合理化・国鉄35万人体制攻撃
に全面屈服し、動労千葉への処分を
要求する動労「本部」革マル反動分子



全国の動労組合員のみなさん。国鉄当局は、わが動労千葉に対し「本部」反動分子による「四・一五津田沼襲撃」を口実とした選別的な不当処分を策動しています。この不当処分策動は、ほかならぬ「本部」反動分子の正式文書による「申し入れ」を最大限利用した、当局・「本部」反動分子一体となった理不尽極まる動労千葉破壊攻撃であります。

動労「本部」、乗務員運用合理化の六月妥結と引きかえに動労千葉への処分＝弾圧を要求!

「本部」反動分子は、四・一五津田沼襲撃をもってする動労千葉の八〇春闘破壊のくろみが完全に失敗したことで、「四・一五」の事実を百八十度転倒させ、白を黒といいくるめて、国鉄当局に対し、「これらの行為は……昨年末の千鉄局報『暴力行為の絶滅について』の精神を足下(ママ)にする言語道断のふるまい……: : : 貴側にあってもこれをあいまいにすることなく厳正に処置されるべく、強く申し入れるものである。」(四月十六日付・国鉄当局への申入書)と、動労千葉への弾圧＝処分を強力に要求しました。

一方、国鉄当局は、国鉄三十五万人体制合理化とりわけ、五五・一〇合理化の中軸である乗務員運用合理化(東京三局だけでも二百八十八名の要員削減が提案されている)の六月妥結を目前にして、なんとしても動労「本部」の全面的な協力を得るため、「申し入れ」を最大限利用して動労千葉への選別的な不当処分攻撃を策動しているのです。

不当処分攻撃は、反合・三里塚・ジェット闘争を闘う動労千葉への組織破壊攻撃!

このように国鉄当局は、「本部」反動分子の哀訴＝たれこみ路線を利用して、国鉄三十五万人体制の闘いと結合した三里塚・ジェット闘争を闘うわが動労千葉の組織と戦闘力を破壊しようとする選別的な不当処分策動に出ています。

来年三月のジェット燃料貨車輸送の期限切れが刻々と近づいていますが、周知のごとく、本格パイプライン計画は、広はんな住民・市民の反対運動の盛り上りの中で、全く見通しすら立たない状

況にあります。政府・空港公団・国鉄当局は、このような燃料輸送問題のゆきづまりと深刻化の中で、二期工事着工攻撃とあわせて、わが動労千葉への組織破壊攻撃を強めているのです。

全組合員の総決起で、不当処分粉碎・反合・三里塚・ジェット闘争貫徹へ!

今日、イラン、アフガンなど戦争の危機を一層深めている世界情勢の中で、大平自民党政府は、「軍事力強化」「挙国一致」など露骨な軍事大国化攻撃を矢つぎ早に行なっています。

一方、既成労働運動が総屈服の道をひたはしる中で、わが動労千葉の「反合・三里塚・ジェット闘争」の路線こそ激動の八〇年代を闘い抜く方向性を指し示すものであることがますます明らかとなつていきます。

われわれは、この一年間の「本部」反動分子との闘いに勝利した組織力をもって、新たな試練のうちから、一層前進する決意であります。

われわれは、去る五月一日開催された第七回支部代表者会議の決定にふまえ、「本部」反動分子・国鉄当局一体となった攻撃をはねかえすべく、現在、全支部において、職場集会、全組合員対話オルグ、集団現場長交渉などをくりかえし開催しつつ、全支部、全職場から総決起体制を築きつつあります。

全国の動労組合員の皆さん。

今こそ、動労大改革の旗かかげ国鉄三十五万人体制粉碎、乗務員運用合理化・検修合理化粉碎、五五・一〇ダイ改粉碎、三里塚・ジェット闘争貫徹へ、わが動労千葉とともに前進しようではありませんか。